

第4章 計画の基本理念と施策の体系

第1節 計画の基本理念

本計画は、「新発田市環境基本条例」の基本理念に基づき、市民の健康で文化的な生活の基盤である健全で恵み豊かな環境を、将来の世代に良好な状態で継承することを目指します。そのため、地域に根ざした自然環境を守り育てる姿勢を大切にしながら、昨今、重要な課題となっている気候変動対策などの地球規模の課題にも率先して取り組みます。これにより、近年の環境を取り巻く状況の変化に的確に対応し、環境の保全に継続して努めていきます。

これらの取組は、環境保全の枠を超えて、地域の活性化や経済の発展にもつながる可能性を持つものであり、結果として市民一人ひとりのウェルビーイングの実現にも寄与します。また、事業者においても、環境面で社会情勢の変化に適切に対応し、環境に配慮した製品・サービスを提供することや、省エネなどのコスト削減により、経営を安定させ、企業のイメージアップにつながるなど市内経済の成長・発展に寄与します。とりわけ、城下町としての歴史や文化を活かしながら、地域の魅力と調和した環境づくりを進めることは、市民の誇りや愛着を育み、暮らしの豊かさにもつながる重要な要素です。

こうした理念や目標を実現していくためには、市民、事業者、行政がそれぞれの役割を果たしながら、互いに連携・協力し、協働によるまちづくりを進めていくことが不可欠です。環境と社会の両面から持続可能な地域社会を築くことを目指し、誰もが安心して快適に暮らせる新発田市の未来を創造していきます。

第2節 望ましい環境像

前述の基本理念の実現に向けて、新発田市が目指す望ましい環境像は以下のとおりです。

未来へ広がる 自然と歴史のまち しばた

この環境像には、地域に根ざした豊かな自然環境と、城下町として育まれてきた歴史や文化を大切にしながら、それらを未来へとつなげていくという思いが込められています。市民の暮らしの中に自然や歴史が息づき、特別な意識をしなくても、日々の生活の中でそれらが守られていくような、持続可能で心地よいまちの姿を示しています。

また、環境の保全とともに、地域の環境資源を活かしながら新発田らしい魅力を育むことで、市民一人ひとりが誇りと愛着を持ち、心身ともに豊かに暮らせる社会の実現を目指します。さらに、地球規模の課題に市民が率先して取り組み、持続可能なまちを維持していきます。環境と文化が調和し、未来へと広がっていく新発田市の姿を、市民・事業者・行政が協働して築いていきます。

なお、この望ましい環境像は、市内の中学生の声を踏まえたものです。アンケート調査では、「新発田の自然がずっと続いてほしい」「歴史ある新発田が好き」といった意見が多く寄せられ、若い世代の中にも自然や歴史への愛着が根付いていることが確認されました。こうした市民の思いを大切にしながら、次世代へとつながる環境づくりを進めていきます。



望ましい環境像のイメージ図を以下に示します。



第3節 重点施策

第2章で整理した環境課題の中でも、特に重要性が高く、今後の取組の強化が求められる分野として、以下の3点を重点施策に位置づけます。

- ・脱炭素社会の実現
- ・ごみの減量化と適正処理
- ・野生動物との共生（有害鳥獣被害への対応）

これらは、地球規模の環境変化や地域の暮らしに直結する課題です。環境の保全にとどまらず、地域の安全、経済活動、市民の生活の質にも深く関わっています。これまでの取組を踏まえつつ、今後はより計画的かつ効果的に対応を進めていくことで、基本理念および望ましい環境像の実現につなげていきます。

第4節 施策の体系

本計画では、第2章で整理した地域特性や環境課題、そして基本理念を踏まえ、望ましい環境像「未来へ広がる 自然と歴史のまち しばた」を実現するための施策体系を構築しました。

まず、本市の特長である豊かな自然環境と歴史文化について「自然と共生するまち」を推進して保全し、将来の世代に良好な状態で継承していきます。

そのうえで、現況の環境課題の解決を目指し、「脱炭素社会の実現」「資源循環型社会づくり」などの地球規模で国際的な潮流に沿った施策や地域の安全、経済活動の活性化に大きな影響を及ぼす「野生動物との共生」の3つの施策を重点的に推進します。

また、地域の課題に対しても「快適に生活できるまちづくり」、「魅力的で心豊かに暮らせるまちづくり」を進めていきます。

これらの体系によって総合的に施策を進め、市民・事業者・行政の連携と協働の下で、地域力や誇りを高め、経済的・社会的な豊かさをもたらすことを目指します。



【施策体系】

望ましい環境像

長期目標

施策目標

施策

未来へ広がる
自然と歴史のまち
しばた

未来へ広がる 自然と歴史のまち しばた	自然と共生するまち	(1) 自然環境の保全 	① 山岳地の保全 ② 里山の保全 ③ 農地の保全
		(2) 生物多様性の保全  	① 野生動物との共生 ② 生物の生息環境の保全
	脱炭素のまち	(1) 再エネ・省エネの推進    	① 再生可能エネルギーの導入促進 ② 省エネルギーの導入推進 ③ 環境と調和したまちの形成 ④ 自然資源等を活用した吸収源対策
		(2) 気候変動への適応    	① 農業・林業への対策 ② 自然災害への対策 ③ 熱中症等対策
	資源循環のまち	(1) ごみの減量・資源循環  	① ごみの発生抑制（リデュース） ② 再利用の推進（リユース） ③ 再資源の推進（リサイクル）
		(2) ごみの適正処理の推進   	① 環境に配慮した消費行動の推進 ② 不法投棄の防止
	快適に生活できる まち	(1) 大気環境の保全  	① きれいな空気の確保 ② フロン類の適正な管理 ③ 悪臭防止対策の実施
		(2) 水環境の保全   	① 河川等の水質保全 ② 下水道・合併浄化槽の整備
		(3) 地盤環境の保全  	① 地下水利用の適正化 ② 汚染のない地下水と土壌の確保
		(4) 騒音と振動の防止  	① 自動車交通や工場等の騒音・振動の防止
	魅力的で心豊かに 暮らせるまち	(1) 身近な環境の保全  	① 身近な緑の保全 ② 水辺環境の保全 ③ 環境美化の推進
		(2) 魅力的なまちの創造  	① 文化財の保護と歴史的景観の保全 ② 環境にやさしい観光地づくり
(3) 環境意識の醸成  		① 普及・啓発活動の推進 ② 環境教育の推進 ③ 市民、環境団体、事業者等の取組の推進	

